

2021年度第3四半期 決算説明資料

2022年2月9日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算のポイント

2021年度第3四半期実績

- 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてで、第3四半期累計として過去最高を更新

2021年度業績予想

- 2021年度業績予想は、2021年11月発表の前回予想を据え置く
- 第3四半期から第4四半期にかけては、季節要因に加えCOVID-19によるサプライチェーン混乱等の影響を見込むが、需要は堅調で来年度に向けて回復を予想
- 半導体不足の影響や原燃料価格高騰、サプライチェーンの混乱等をリスクとして注視

株主還元

- 1株当たりの年間配当は34円の予想を据え置く
- 「安定配当且つ継続的な増配を目指す」方針、通期業績を勘案して決定する方針に変わりはない

2021年度第3四半期実績(連結)

- COVID-19による影響を大きく受けた前年同期と比べ、大幅な増収・増益
- 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてで、第3四半期累計として過去最高を更新

(億円)

	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
売上高	15,367	18,248	2,881	18.7%
営業利益	1,295	1,741	445	34.4%
経常利益	1,323	1,842	519	39.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	800	1,407	607	75.9%

相場平均為替レート	(円/USドル)	106	111
	(円/ユーロ)	122	131

2021年度第3四半期実績(セグメント別)

- COVID-19による影響を大きく受けた前年同期と比べ、「マテリアル」が大幅な増収・増益
- COVID-19感染拡大前の19年度比ではすべてのセグメントで増収・増益

(億円)

		19年度 4-12月	20年度 4-12月	21年度 4-12月	20年度比	
					増減額	増減率
売上高	マテリアル	8,359	7,056	8,824	1,768	25.1%
	住宅	4,897	5,123	6,193	1,070	20.9%
	ヘルスケア	2,511	3,079	3,129	50	1.6%
	その他	118	108	101	-7	-6.7%
	合計	15,885	15,367	18,248	2,881	18.7%

営業利益	マテリアル	791	428	917	489	114.4%
	住宅	462	482	557	75	15.6%
	ヘルスケア	358	558	502	-57	-10.1%
	その他	19	24	21	-3	-12.5%
	消去又は全社	-227	-197	-256	-59	-
	合計	1,402	1,295	1,741	445	34.4%

マテリアル

自動車関連市場の回復に伴うエンジニアリング樹脂等の販売数量増加や、増設が寄与したリチウムイオン電池用セパレータ、半導体市況活況を背景とした電子材料製品の販売数量増加に加え、需要回復等を背景として石化製品市況が急速に上昇したことなどから、**大幅な増収・増益**

住宅

北米事業の好調な推移や、豪州事業の新規連結影響などから、**増収・増益**

ヘルスケア

前年同期に需要が急増した人工呼吸器の販売数量が大幅に減少したものの、除細動器等クリティカルケア事業の主力事業が好調に推移し、医薬・医療事業も堅調に推移したことなどから、**増収となり、減益幅も抑えられた**

連結損益計算書

- 販管費： 前年同期比で、McDonald Jones等の新規連結影響に加え、物流費、研究開発費等が増加
- 営業外損益： 前年同期比で、PTT旭ケミカルの業績改善等により持分法投資損益が改善
- 特別損益： 政策保有株式の売却による投資有価証券売却益、半導体工場火災関連の構造改善費用等を計上
- 法人税等： Veloxis再編に伴い約80億円の税金費用が軽減

(億円)

	20年度4-12月		21年度4-12月		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	15,367	100.0%	18,248	100.0%	2,881	18.7%
売上原価	10,360	67.4%	12,357	67.7%	1,998	19.3%
売上総利益	5,007	32.6%	5,890	32.3%	883	17.6%
販管費	3,712	24.2%	4,149	22.7%	438	11.8%
営業利益	1,295	8.4%	1,741	9.5%	445	34.4%
営業外損益 (内、持分法投資損益)	28 (12)		102 (77)		74 (65)	
経常利益	1,323	8.6%	1,842	10.1%	519	39.2%
特別損益	-141		16		157	
税前利益	1,182	7.7%	1,858	10.2%	676	57.2%
法人税等	-365		-434		-70	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-18		-17		0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	800	5.2%	1,407	7.7%	607	75.9%

連結貸借対照表

- 総資産： 買収に伴うのれんや無形固定資産の計上に加え、市況上昇に伴い売上債権、棚卸資産が増加
- 負債： 有利子負債の増加に加え、原材料価格上昇に伴い仕入債務が増加
- 純資産： 四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加

(億円)

	21/3月末	21/12月末	増減		21/3月末	21/12月末	増減
流動資産	11,368	13,091	1,723	負債	14,244	16,135	1,891
現金及び預金	2,218	2,458	240	流動負債	7,032	8,752	1,720
受取手形、売掛金及び契約資産	3,386	4,350	963	固定負債	7,212	7,383	171
棚卸資産	4,815	5,128	313	純資産	14,945	16,270	1,325
その他	949	1,155	206	株主資本	13,359	14,378	1,019
固定資産	17,822	19,314	1,493	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	7,173	7,659	487	資本剰余金	796	795	-1
無形固定資産	6,944	7,989	1,045	利益剰余金	11,588	12,611	1,023
投資その他の資産	3,705	3,667	-39	自己株式	-59	-62	-3
				その他の包括利益累計額	1,316	1,598	283
				非支配株主持分	271	293	23
資産合計	29,189	32,405	3,216	負債純資産合計	29,189	32,405	3,216
のれん残高	3,519	4,108	589				
有利子負債*1	6,590	7,998	1,408				
D/Eレシオ	0.45	0.50	0.05				

*1 リース債務除く

連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF: 税金等調整前四半期純利益は増加したが、売上債権、棚卸資産等の運転資本が増加したことから、前年同期比でキャッシュ・インが減少
- 投資CF: 前年同期比ではM&A関連のキャッシュ・アウトが増加(第3四半期にItamarの買収完了)
- 財務CF: 配当金の支払いがある一方、資金調達の実行によりキャッシュ・イン

(億円)

	20年度4-12月	21年度4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,754	1,127
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,047	-1,753
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	707	-626
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-302	821
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	1	75
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	405	270
現金及び現金同等物の期首残高⑦	2,048	2,162
連結の範囲の変更に伴う増減額⑧	18	11
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	2,471	2,443

2021年度業績予想(連結)

- 2021年度通期業績予想は、2021年11月発表の前回予想を据え置く
- COVID-19による影響を大きく受けた前期と比べ、増収・増益となる予想
- 半導体不足の影響や原燃料価格高騰、サプライチェーンの混乱等についてリスクとして注視

(億円)

	19年度	20年度	21年度 予想	20年度比		21年度 前回予想 (11月発表)
				増減額	増減率	
売上高	21,516	21,061	24,530	3,469	16.5%	24,530
営業利益	1,773	1,718	2,131	413	24.1%	2,131
経常利益	1,840	1,780	2,220	440	24.7%	2,220
親会社株主に帰属する当期純利益	1,039	798	1,855	1,057	132.5%	1,855

1株当たり当期純利益(EPS) (円)	74.85	57.49	133.70			133.69
1株当たり配当金 (円)	34	34	(予想) 34			(予想) 34
配当性向 (%)	45.4	59.1	25.4			25.4

相場平均為替レート (円/USDドル)	109	106	111	110
(円/ユーロ)	121	124	130	130

2021年度業績予想(セグメント別)

- すべてのセグメントにおいて2021年11月発表の前回予想を据え置く
- COVID-19による影響を大きく受けた前期と比べ、「マテリアル」を中心に大幅な増収・増益となる見通し

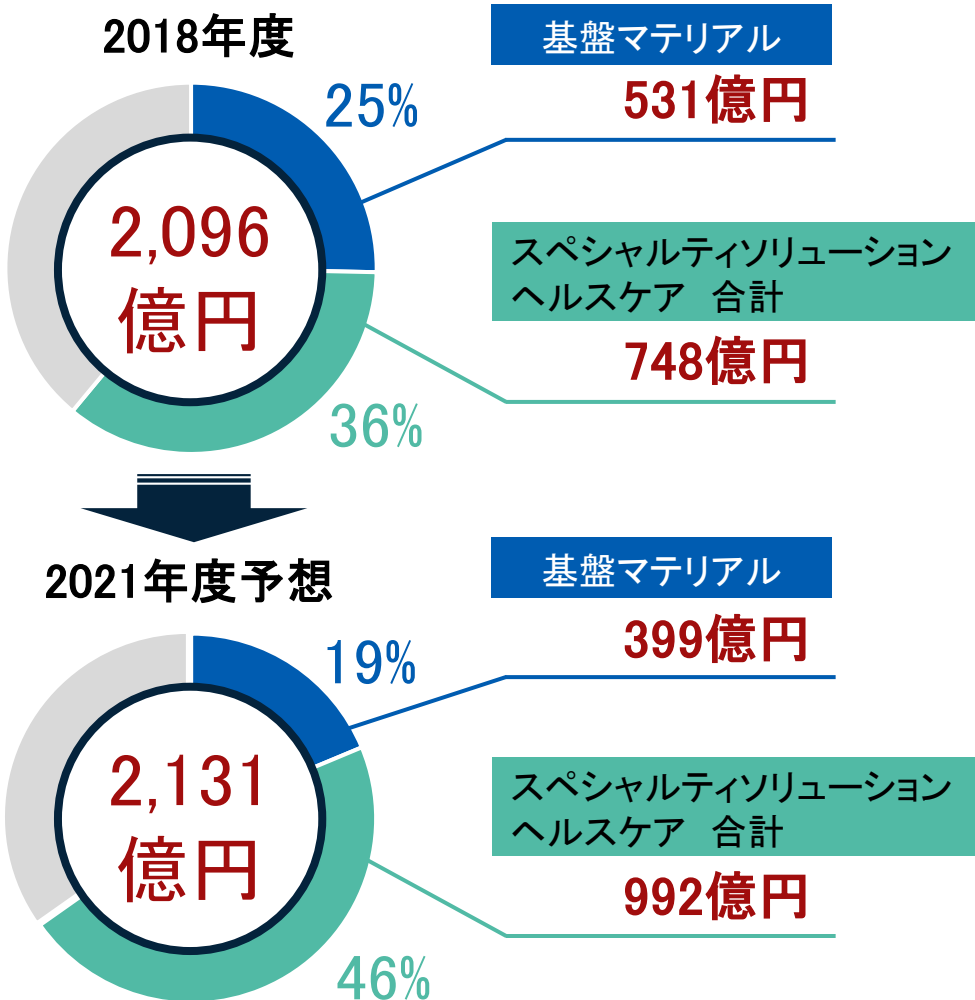
(億円)

		19年度	20年度	2020年度		21年度 予想	20年度比 増減率	19年度比 増減率	
				上期	3Q				
									下期 予想
売上高	マテリアル	10,931	9,912	5,703	3,121	6,217	11,920	20.3%	9.0%
	住宅	7,044	6,926	3,981	2,211	4,259	8,240	19.0%	17.0%
	ヘルスケア	3,378	4,079	2,059	1,070	2,171	4,230	3.7%	25.2%
	その他	163	143	67	34	73	140	-2.0%	-14.1%
	合計	21,516	21,061	11,810	6,437	12,720	24,530	16.5%	14.0%
営業利益	マテリアル	924	665	607	310	550	1,157	74.0%	25.2%
	住宅	727	635	333	224	359	693	9.0%	-4.7%
	ヘルスケア	435	676	343	159	252	595	-12.0%	36.7%
	その他	32	38	14	7	14	28	-26.6%	-12.2%
	消去又は全社	-345	-296	-165	-90	-175	-341	-	-
	合計	1,773	1,718	1,131	609	1,000	2,131	24.1%	20.2%

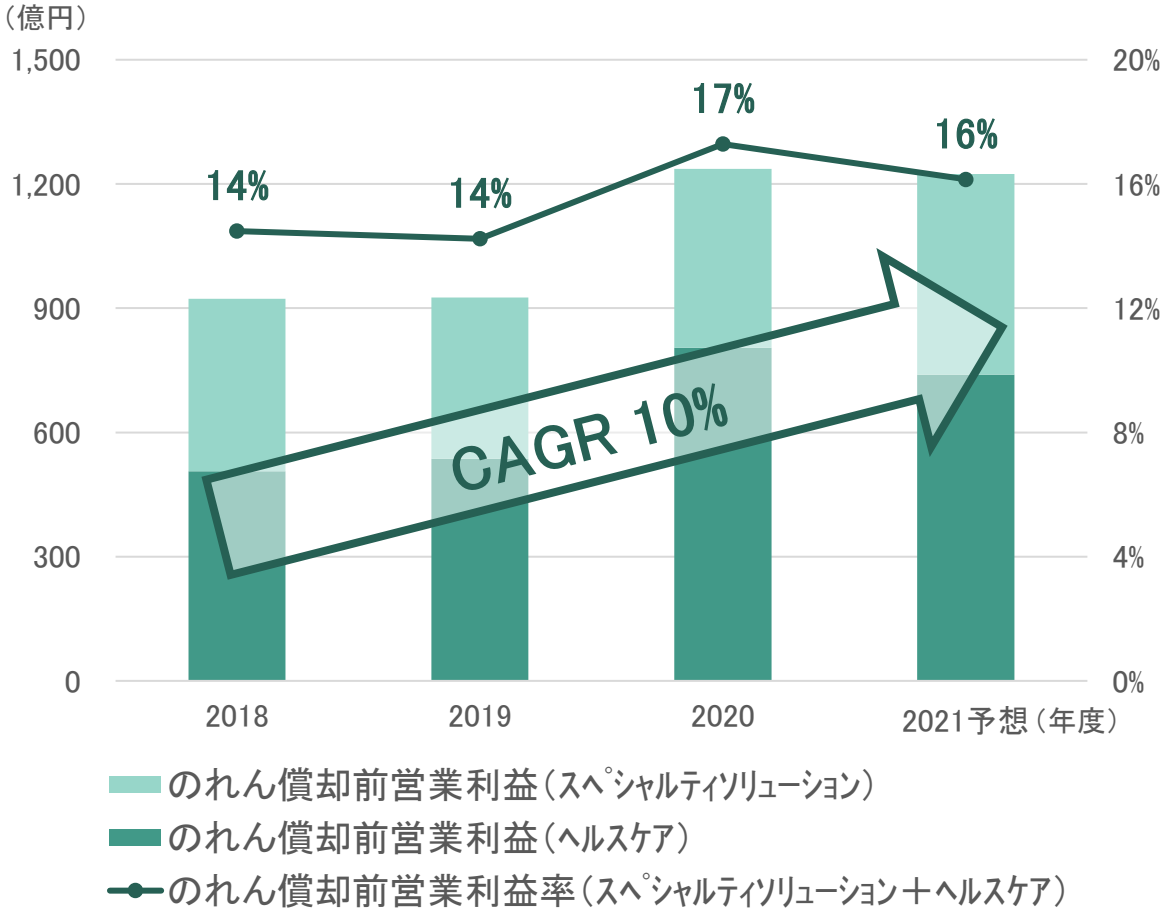
営業利益構成の変化(2018年度との比較)

➤ 過去最高益を達成した2018年度と比較し、汎用石化事業(基盤マテリアル)の割合は低下した一方、成長分野である高付加価値型事業(スペシャルティソリューション、ヘルスケア)の業績が着実に拡大、割合も上昇

■ グループ全体の営業利益構成の変化



■ のれん償却前営業利益・利益率推移 (スペシャルティソリューション、ヘルスケア)



現中期経営計画3年間の各セグメントの業績動向

セグメント		業績の動向
ヘルスケア		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現中計目標を超える水準で推移。クリティカルケア事業を中心に高い成長率を達成する見込み。 ➤ グループ全体の成長ドライバーとして、引き続き成長を期待。
マテリアル	スペシャルティソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ COVID-19感染拡大による不透明な事業環境においても、セパレータ事業や電子材料関連事業を中心に業績を拡大。 ➤ 堅調な需要を背景に、引き続き成長を期待。
	パフォーマンスプロダクツ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 景況感の減速に加えて、COVID-19感染拡大の影響や半導体不足による自動車減産により、自動車関連市場向け各製品が苦戦を強いられた。 ➤ 自動車生産の回復に伴い今後の需要拡大を期待。
	基盤マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アクリロニトリル(以下、AN)のコストフォーミュラ化を中心とした収益の安定化施策に加え、事業ポートフォリオの変化により、グループ全体における構成比率は低下。 ➤ 安定収益体制強化により、市況軟化局面でも一定の収益を期待。
住宅		<ul style="list-style-type: none"> ➤ COVID-19感染拡大による影響を受けたが、現中計の成長戦略の着実な実行により、安定的に業績貢献。 ➤ 現中計の営業利益目標について、1年遅れでの達成を目指す。

参考資料

2021年度第3四半期実績

P13~14	売上高・営業利益増減内訳(4-12月比較)
P15	売上高・営業利益増減内訳(10-12月比較)
P16	海外売上高
P17	特別損益

2021年度業績予想

P18	2021年度業績予想
P19~20	事業別売上高・営業利益予想
P21	2021年度業績予想(3Qから4Qへの営業利益動向)

セグメント別概況

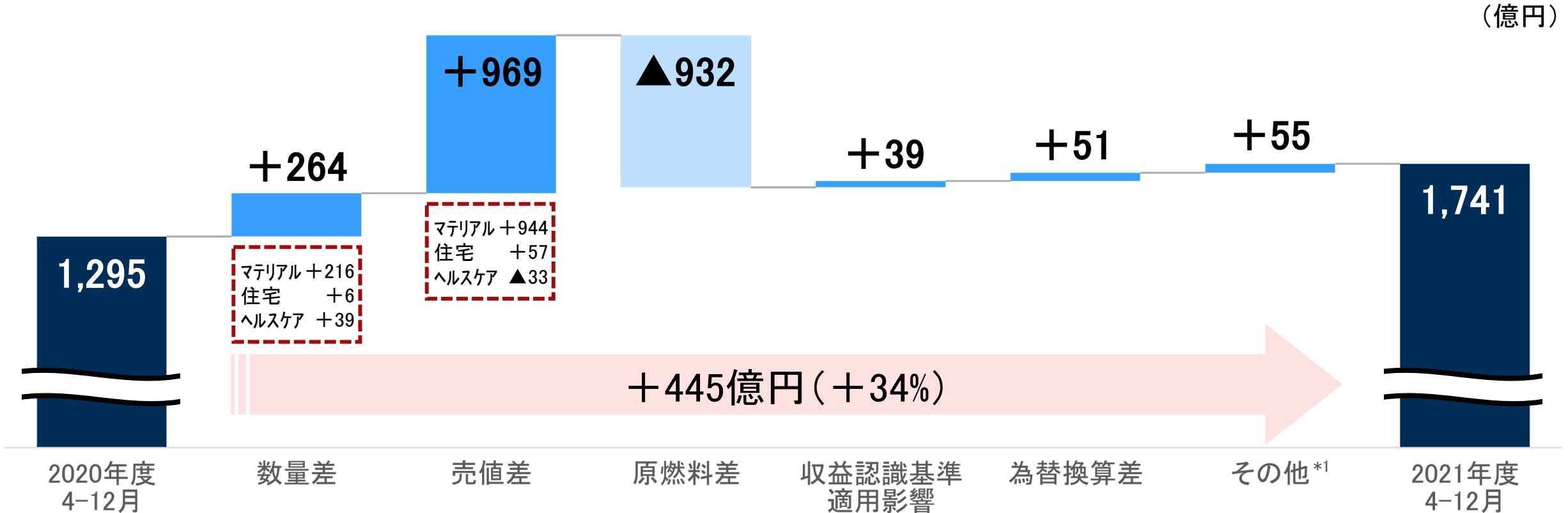
P22~23	マテリアル
P24~25	住宅
P26~29	ヘルスケア

その他

P30~31	四半期売上高・営業利益推移
P32	注記

2021年度第3四半期実績（営業利益の増減要因分析）

- 数量差は、COVID-19からの回復を受け、「マテリアル」を中心にプラス
- 原燃料価格上昇の影響は大きいですが、市況上昇を背景とした値上げ等により売値差が大きくプラスとなり、
交易条件は改善



*1 固定費差、在庫影響、新規連結影響等

売上高・営業利益増減内訳(4-12月比較)

(億円)

		20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率	内訳					
						数量差	売値差	うち為替因	その他差	収益認識基準 適用影響	
マテリアルセグメント	売上高	7,056	8,824	1,768	25.1%	783	944	137	317	-276	
	営業利益	428	917	489	114.4%	216	944	137	-670	-1	
	基盤マテリアル	売上高	1,857	2,668	811	43.7%	364	573	10	58	-183
		営業利益	42	338	297	-	50	573	10	-324	-2
	パフォーマンス プロダクツ	売上高	2,664	3,381	717	26.9%	237	314	66	186	-20
		営業利益	127	270	143	112.5%	112	314	66	-283	-0
	スペシャルティ ソリューション	売上高	2,250	2,488	238	10.6%	149	58	61	73	-43
		営業利益	253	333	80	31.7%	54	58	61	-33	1
	マテリアル共通	売上高	285	287	2	0.8%	34	-	-	-	-31
		営業利益	6	-24	-30	-	-0	-	-	-30	-
住宅セグメント	売上高	5,123	6,193	1,070	20.9%	164	57	-	702	146	
	営業利益	482	557	75	15.6%	6	57	-	-29	41	
	住宅	売上高	4,754	5,843	1,090	22.9%	172	57	-	702	158
		営業利益	449	533	84	18.7%	7	57	-	-21	41
	建材	売上高	370	350	-20	-5.4%	-8	0	-	-	-12
		営業利益	36	24	-12	-34.1%	-1	0	-	-12	-0
ヘルスケアセグメント	売上高	3,079	3,129	50	1.6%	-27	-33	2	111	-1	
	営業利益	558	502	-57	-10.1%	39	-33	2	-62	-1	
	医薬・医療	売上高	1,150	1,321	171	14.9%	153	-25	0	44	-1
		営業利益	196	225	29	15.0%	103	-25	0	-48	-1
	クリティカルケア	売上高	1,929	1,808	-121	-6.3%	-181	-8	1	68	-
		営業利益	363	277	-86	-23.7%	-64	-8	1	-14	-
その他	売上高	108	101	-7	-6.7%	-7	-	-	-	-	
	営業利益	24	21	-3	-12.5%	2	-	-	-5	-	
消去又は全社	営業利益	-197	-256	-59	-	-	-	-	-59	-	
合計	売上高	15,367	18,248	2,881	18.7%	913	969	138	1,130	-132	
	営業利益	1,295	1,741	445	34.4%	264	969	138	-826	39	

売上高・営業利益増減内訳(10-12月比較)

(億円)

		20年度 10-12月	21年度 10-12月	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差
マテリアルセグメント	売上高	2,672	3,121	449	16.8%	82	379	67	-12
	営業利益	219	310	91	41.4%	-9			-279
基盤マテリアル	売上高	690	987	297	43.0%	139	202	3	-44
	営業利益	41	114	74	181.6%	8			-136
パフォーマンス プロダクツ	売上高	1,075	1,173	98	9.1%	-82	143	32	37
	営業利益	79	97	18	23.3%	-23			-101
スペシャルティ ソリューション	売上高	804	860	56	6.9%	15	35	32	5
	営業利益	101	98	-3	-2.5%	6			-43
マテリアル共通	売上高	103	102	-1	-1.0%	10	-	-	-11
	営業利益	-1	-0	1	-	-0			1
住宅セグメント	売上高	1,736	2,211	475	27.4%	106	14	-	355
	営業利益	165	224	59	35.5%	25			20
住宅	売上高	1,610	2,085	475	29.5%	103	13	-	359
	営業利益	155	213	58	37.1%	22			22
建材	売上高	126	127	0	0.3%	3	1	-	-4
	営業利益	12	11	-1	-10.2%	3			-5
ヘルスケアセグメント	売上高	1,030	1,070	40	3.9%	-15	-14	-4	69
	営業利益	204	159	-45	-22.2%	11			-43
医薬・医療	売上高	407	468	61	14.9%	55	-8	0	13
	営業利益	88	90	2	2.4%	35			-25
クリティカルケア	売上高	623	603	-21	-3.3%	-70	-6	-4	55
	営業利益	117	69	-48	-40.7%	-24			-17
その他	売上高	34	34	-0	0.0%	-0	-	-	-
	営業利益	7	7	0	6.5%	0			0
消去又は全社	営業利益	-68	-90	-22	-	-	-	-	-22
合計	売上高	5,473	6,437	964	17.6%	173	380	63	411
	営業利益	527	609	82	15.5%	26			-324

海外売上高

(億円)

	20年度4-12月			21年度4-12月			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
マテリアルセグメント	7,056	3,881	55.0%	8,824	5,334	60.4%	1,453	37.4%
基盤マテリアル	1,857	799	43.0%	2,668	1,318	49.4%	520	65.1%
パフォーマンスプロダクツ	2,664	1,564	58.7%	3,381	2,241	66.3%	677	43.3%
スペシャルティソリューション	2,250	1,501	66.7%	2,488	1,748	70.3%	247	16.5%
マテリアル共通	285	17	5.9%	287	26	9.1%	9	53.9%
住宅セグメント	5,123	159	3.1%	6,193	1,103	17.8%	944	-
住宅	4,754	159	3.3%	5,843	1,103	18.9%	944	-
建材	370	0	0.0%	350	0	0.0%	-0	-7.2%
ヘルスケアセグメント	3,079	2,375	77.1%	3,129	2,352	75.2%	-23	-1.0%
医薬・医療	1,150	463	40.3%	1,321	562	42.6%	99	21.4%
クリティカルケア	1,929	1,912	99.1%	1,808	1,790	99.0%	-122	-6.4%
その他	108	15	13.7%	101	11	11.1%	-4	-24.3%
合計	15,367	6,430	41.8%	18,248	8,800	48.2%	2,370	36.9%
アジア		2,874	18.7%		3,912	21.4%	1,037	36.1%
(内、中国)		1,430	9.3%		1,821	10.0%	390	27.3%
米州		2,460	16.0%		2,870	15.7%	410	16.7%
欧州		899	5.9%		1,111	6.1%	212	23.6%
その他海外		197	1.3%		907	5.0%	710	-

特別損益

(億円)

	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減
投資有価証券売却益	88	143	55
固定資産売却益	3	9	6
段階取得による差益	-	17	17
特別利益	91	168	77
投資有価証券評価損	0	2	2
固定資産処分損	65	53	-12
減損損失	2	4	2
火災損失	116	-	-116
事業構造改善費用	48	93	45
特別損失	232	152	-80
特別損益	-141	16	157

2021年度業績予想

(億円)

	19年度	20年度			21年度			増減額 b-a	増減率	21年度 前回予想 (11月発表)	
		上期	下期	計 a	上期	下期 予想					計 b
						3Q					
売上高	21,516	9,894	11,167	21,061	11,810	6,437	12,720	24,530	3,469	16.5%	24,530
営業利益	1,773	768	950	1,718	1,131	609	1,000	2,131	413	24.1%	2,131
経常利益	1,840	775	1,006	1,780	1,192	650	1,028	2,220	440	24.7%	2,220
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,039	468	330	798	913	494	942	1,855	1,057	132.5%	1,855

相場平均為替レート (円/USドル)	109	107	105	106	110	114	112	111			110
(円/ユーロ)	121	121	126	124	131	130	130	130			130

事業別売上高予想

(億円)

	19年度	20年度			21年度			増減額 b-a	増減率	21年度 前回予想 (11月発表)	
		上期	下期	計 a	上期	下期 予想					計 b
						3Q					
マテリアルセグメント	10,931	4,384	5,529	9,912	5,703	3,121	6,217	11,920	2,008	20.3%	11,920
基盤マテリアル	3,168	1,167	1,522	2,689	1,681	987	1,849	3,530	841	31.3%	3,530
パフォーマンスプロダクツ	4,239	1,589	2,167	3,756	2,208	1,173	2,442	4,650	894	23.8%	4,650
スペシャルティソリューション	3,125	1,446	1,626	3,072	1,628	860	1,722	3,350	278	9.1%	3,350
マテリアル共通	400	182	214	396	186	102	204	390	-6	-1.5%	390
住宅セグメント	7,044	3,387	3,539	6,926	3,981	2,211	4,259	8,240	1,314	19.0%	8,240
住宅	6,493	3,144	3,304	6,448	3,758	2,085	4,002	7,760	1,312	20.3%	7,760
建材	551	243	235	478	223	127	257	480	2	0.4%	480
ヘルスケアセグメント	3,378	2,049	2,030	4,079	2,059	1,070	2,171	4,230	151	3.7%	4,230
医薬・医療	1,333	743	801	1,544	853	468	907	1,760	216	14.0%	1,760
クリティカルケア	2,045	1,306	1,229	2,535	1,205	603	1,265	2,470	-65	-2.6%	2,470
その他	163	75	68	143	67	34	73	140	-3	-2.0%	140
合計	21,516	9,894	11,167	21,061	11,810	6,437	12,720	24,530	3,469	16.5%	24,530

事業別営業利益予想

(億円)

	19年度	20年度			21年度				増減額 b-a	増減率	21年度 前回予想 (11月発表)
		上期	下期	計 a	上期	下期 予想		計 b			
						3Q					
マテリアルセグメント	924	208	456	665	607	310	550	1,157	492	74.0%	1,157
基盤マテリアル	266	1	139	140	224	114	175	399	259	185.2%	399
パフォーマンスプロダクツ	337	48	138	186	172	97	211	383	197	105.6%	383
スペシャルティソリューション	304	152	196	348	235	98	162	397	48	13.9%	397
マテリアル共通	16	7	-17	-10	-24	-0	2	-22	-12	-	-22
住宅セグメント	727	317	319	635	333	224	359	693	57	9.0%	693
住宅	674	294	303	597	320	213	340	660	64	10.7%	660
建材	56	24	13	37	13	11	19	32	-5	-13.5%	32
ヘルスケアセグメント	435	354	322	676	343	159	252	595	-81	-12.0%	595
医薬・医療	178	108	121	230	136	90	101	236	7	2.9%	236
クリティカルケア	257	246	201	446	207	69	151	359	-88	-19.7%	359
その他	32	17	21	38	14	7	14	28	-10	-26.6%	28
消去又は全社	-345	-129	-167	-296	-165	-90	-175	-341	-45	-	-341
合 計	1,773	768	950	1,718	1,131	609	1,000	2,131	413	24.1%	2,131

2021年度業績予想(3Qから4Qへの営業利益動向)

- 第3四半期から第4四半期にかけては、季節要因に加え、COVID-19によるサプライチェーン混乱等の影響を見込む
- 基本的な需要は堅調、来年度に向けては回復を予想

セグメント		3Q→4Qの営業利益動向
マ テ リ ア ル	基盤マテリアル	➤ ANを中心に堅調な需要を見込むものの、交易条件の悪化により減益を見込む。
	パフォーマンス プロダクツ	➤ 固定費増加等の影響がある一方、半導体不足に伴う自動車減産の影響が緩和しつつあり、増益を見込む。
	スペシャルティ ソリューション	➤ 原材料費、物流費等の各種費用の増加や、中国の旧正月等の季節要因により、減益を見込む。
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 建築請負部門では、工事進行中物件の変動や、住宅設備の欠品による影響等を見込む。 ➤ 不動産部門では、分譲マンション事業における販売戸数減少等を見込む。 ➤ 海外事業では、労務単価を含むコストアップや、木材価格変動によるマイナス影響を見込む。 	
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 医薬・医療事業では、期末にかけて研究開発費等費用の増加により、減益を見込む。 ➤ クリティカルケア事業では、Itamar新規連結影響があるものの、需要は堅調に推移すること等により、増益を見込む。 	

マテリアルセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
マテリアルセグメント	7,056	8,824	1,768	25.1%
基盤マテリアル	1,857	2,668	811	43.7%
パフォーマンス プロダクツ	2,664	3,381	717	26.9%
スペシャルティ ソリューション	2,250	2,488	238	10.6%
マテリアル共通	285	287	2	0.8%

	営業利益			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
マテリアルセグメント	428	917	489	114.4%
基盤マテリアル	42	338	297	-
パフォーマンス プロダクツ	127	270	143	112.5%
スペシャルティ ソリューション	253	333	80	31.7%
マテリアル共通	6	-24	-30	-

< 基盤マテリアル事業 >

営業利益: 増益

- (+) 原料価格上昇に伴う在庫受払差
- (+) ANの交易条件改善

トピックス

- ・CO₂を主原料とする高純度カーボネート類製造技術の第1号のライセンス契約締結を発表。(7月)
- ・東西石油化学によるアジアのANメーカー初となるISCC PLUS認証を取得、バイオマスプロピレンを用いたANの生産開始予定を発表。(1月)

マテリアルセグメント(2)

<パフォーマンスプロダクツ事業>

営業利益: 増益

- (+)自動車関連市場向け各製品における販売数量増加
- (+)衣料関連市場向け繊維製品における販売数量増加

トピックス

- ・スパンデックス事業の構造改革を発表。(8月)
- ・スチレン系特殊透明樹脂「アサフレックス」の事業撤退を発表。(8月)
- ・低燃費タイヤ向けS-SBRの原料となる廃プラスチックおよびバイオマス由来のブタジエンの購入に関する売買契約を締結。(11月)
- ・旭化成エアバッグファブリックベトナムの設立を決定。(12月)

<スペシャルティソリューション事業>

営業利益: 増益

- (+)セパレータ事業における各製品の販売数量増加
- (+)半導体市況活況を背景とした電子材料製品の販売数量増加

トピックス

- ・アクリルラテックス事業、光触媒塗料事業の撤退および和歌山工場の閉鎖を発表。(5月)
- ・Polyporeによる中国におけるリチウムイオン電池用乾式セパレータの合弁会社設立を発表。(9月)

住宅セグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
住宅セグメント	5,123	6,193	1,070	20.9%
住宅事業	4,754	5,843	1,090	22.9%
建築請負部門	2,820	2,967	147	5.2%
不動産部門	1,356	1,364	8	0.6%
リフォーム部門	399	395	-4	-0.9%
海外事業他*1	180	1,118	938	-
建材事業	370	350	-20	-5.4%

	営業利益			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
住宅セグメント	482	557	75	15.6%
住宅事業	449	533	84	18.7%
建築請負部門	222	252	30	13.5%
不動産部門	183	158	-25	-13.7%
リフォーム部門	37	38	2	4.6%
海外事業他*1	8	86	78	-
建材事業	36	24	-12	-34.1%

営業利益:増益

- (+) 海外事業の堅調な推移(北米事業の伸長、豪州事業の新規連結)
- (+) 建築請負部門における物件大型化等による平均単価上昇
- (+) 「収益認識に関する会計基準」適用の影響
- (-) 建築請負部門における引渡棟数減少

建築請負部門の受注高状況

- ・COVID-19感染拡大の影響を大きく受けた前年同期に対し25.2%の増加となった。

トピックス

- ・豪州の住宅会社McDonald Jonesの株式を追加取得する契約を締結。(4月)連結子会社化。(6月)
- ・旭化成ホームズのRE100目標達成を2025年に前倒す見通しを発表。(8月)
- ・米国で戸建住宅の配管工事を行うBrewerを買収。(11月)

住宅セグメント(2) 受注高、売上高の推移

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負部門売上高				不動産部門売上高				リフォーム部門売上高	海外事業他 ^{*2,3}	連結計	受注残
			戸建	集合	他 ^{*1}	合計	分譲	賃貸	他	合計				
17	上期	1,931 (-6.5%)	1,432	367	27	1,827	120	453	16	590	268	11	2,696	5,289
	下期	2,125 (9.4%)	1,617	588	36	2,241	147	478	25	651	284	11	3,187	5,209
	通期	4,056 (1.2%)	3,049	956	63	4,068	268	932	42	1,241	552	22	5,883	
18	上期	2,101 (8.8%)	1,364	368	23	1,755	168	497	16	681	272	10	2,718	5,578
	下期	2,415 (13.6%)	1,628	614	40	2,282	132	521	21	674	312	61	3,329	5,750
	通期	4,516 (11.3%)	2,993	981	63	4,037	299	1,018	37	1,354	584	71	6,047	
19	上期	2,019 (-3.9%)	1,440	439	94	1,973	76	544	23	643	320	113	3,049	5,890
	下期	1,984 (-17.8%)	1,469	623	92	2,184	280	568	28	876	294	90	3,444	5,782
	通期	4,003 (-11.3%)	2,909	1,062	186	4,157	355	1,112	51	1,519	613	204	6,493	
20	上期	1,453 (-28.1%)	1,328	469	81	1,878	309	581	21	910	258	98	3,144	5,438
	下期	1,813 (-8.6%)	1,366	611	92	2,069	111	608	71	790	272	174	3,304	5,275
	通期	3,266 (-18.4%)	2,693	1,080	174	3,947	420	1,189	91	1,701	529	272	6,448	
21 ^{*4}	上期	2,063 (42.0%)	1,274	510	106	1,890	205	625	31	860	267	740	3,758	5,635
	3Q	811 (-3.8%)	734	290	52	1,076	171	318	14	504	128	377	2,085	5,499

請負受注高 : 21年度下期予想 1,781 (-1.8%)

期末受注残 : 21年度末時点 5,523

21年度通期予想 3,844 (17.7%)

*1 一部分譲、ケア工事等。(2019年度より、従来販管費で計上していたケア工事収入を売上高に含めている。)

*2 2018年度第4四半期より、米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を含めている。

*3 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を含めている。

*4 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。ただし、受注残については旧基準ベースで算出した金額を表示している。

ヘルスケアセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	3,079	3,129	50	1.6%
医薬・医療事業	1,150	1,321	171	14.9%
クリティカルケア事業	1,929	1,808	-121	-6.3%

	営業利益			
	20年度 4-12月	21年度 4-12月	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	558	502	-57	-10.1%
医薬・医療事業	196	225	29	15.0%
クリティカルケア事業	363	277	-86	-23.7%

営業利益: 減益

- (+) 除細動器および着用型自動除細動器「LifeVest」の好調な推移
- (+) 骨粗鬆症治療剤「テリボン」を中心とした医薬品の販売数量増加
- (+) Respicardia買収に伴う会計処理影響
- (-) 人工呼吸器の販売数量減少

ヘルスケアセグメント(2)

トピックス

M&Aおよび導入関連

- ・ZOLLによる米国医療機器メーカーRespicardia, Inc.買収。(4月)
- ・VeloxisによるCD28阻害薬「FR104」の臓器移植を対象としたグローバルライセンス契約締結。(4月)
- ・旭化成ファーマによる免疫調整剤「プラケニル錠200mg」の日本における販売に関するライセンス契約締結。(7月)
- ・ZOLLによるイスラエル医療機器メーカーItamar Medical Ltd.の買収に関する最終合意書締結。(9月)買収を完了。(12月)
- ・旭化成ファーマによる医療機器「AGN1 LOEP Hip Kit」の日本における販売権に関するオプション契約締結。(9月)
- ・旭化成メディカルによる米国マイコプラズマ受託試験会社Bionique Testing Laboratories LLC買収。(12月)
- ・旭化成メディカルによる医療機器「Seraph 100 Microbind Affinity Blood Filter」の日本における独占販売契約締結。(12月)

その他

- ・旭化成メディカルによるウイルス除去フィルター「プラノバBioEX」の紡糸能力の倍増を決定。(7月)
- ・旭化成ファーマによる体外診断用医薬品「リボテスト」シリーズ3製品の製造販売承認の承継を決定。(8月)
- ・旭化成ファーマによる深在性真菌症治療剤「AK1820」(イサブコナゾニウム硫酸塩)の国内製造販売承認申請。(9月)

ヘルスケアセグメント(3)

医薬・医療事業 売上高内訳

(億円)

	20年度			21年度	
	10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
医薬事業	219	598	811	258	706
医療事業	188	552	733	209	615
医薬・医療 計	407	1,150	1,544	468	1,321

医薬事業 主要医薬品売上高

(売上高の対象地域、単位)	20年度			21年度	
	10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
<旭化成ファーマ>					
テリボン (国内、億円)	86	228	310	104	290
リコモジュリン (")	27	75	94	25	70
ケブザラ (")	15	39	53	21	55
リクラスト (")	4	10	13	4	10
プラケニル (")				16	16
<Veloxis>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	34	94	122	39	107

ヘルスケアセグメント(4)

医薬事業 主要医薬品

	一般名	薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤(副甲状腺ホルモン:PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ(遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

医薬事業 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	申請中	AK1820・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症治療剤	真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性末梢神経障害	日本	自社	効能追加
	フェーズⅡ	AK1830・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う疼痛	日本	導入	
	フェーズⅡ			慢性腰痛症に伴う疼痛			
海外	申請中	HE-69・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
海外	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

四半期売上高推移

	20年度				21年度			(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	21年度 下期 予想
マテリアルセグメント	2,047	2,337	2,672	2,856	2,768	2,935	3,121	6,217
基盤マテリアル	575	592	690	832	791	890	987	1,849
パフォーマンスプロダクト	682	907	1,075	1,092	1,103	1,105	1,173	2,442
スペシャルティソリューション	700	746	804	821	782	847	860	1,722
マテリアル共通	90	92	103	111	92	93	102	204
住宅セグメント	1,509	1,878	1,736	1,803	1,976	2,005	2,211	4,259
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	4,002
建材	119	125	126	109	104	119	127	257
ヘルスケアセグメント	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	2,171
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	907
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	1,265
その他	39	36	34	34	32	35	34	73
合 計	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	5,976	6,437	12,720

四半期営業利益推移

	20年度				21年度			(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	21年度 下期 予想
マテリアルセグメント	89	120	219	237	321	286	310	550
基盤マテリアル	-17	18	41	98	101	123	114	175
パフォーマンスプロダクツ	14	34	79	60	106	66	97	211
スペシャルティソリューション	78	74	101	95	129	106	98	162
マテリアル共通	14	-7	-1	-16	-15	-9	-0	2
住宅セグメント	108	209	165	154	152	182	224	359
住宅	98	196	155	148	147	173	213	340
建材	11	13	12	1	4	9	11	19
ヘルスケアセグメント	155	199	204	118	205	138	159	252
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	101
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	151
その他	7	10	7	14	3	11	7	14
消去又は全社	-58	-71	-68	-100	-76	-89	-90	-175
合 計	301	467	527	423	605	526	609	1,000

注記

- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。P15の売上高・営業利益増減内訳では、当該変更による増減額を「その他差」に含めて開示している。
- 2020年度第1四半期より、米国Veloxis Pharmaceuticals, Inc.の業績を「ヘルスケア」セグメントの「医薬・医療」事業に含めて開示している。
- 2021年度第1四半期より、豪州McDonald Jones Homes Pty Ltd及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントの「住宅」事業に含めて開示している。
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

